

「茨城大学工学部技術部研修会」開催報告

茨城大学工学部技術部は、9月9日（金）に関東地区5大学（宇都宮大学、群馬大学、埼玉大学、筑波大学、横浜国立大学）の技術職員も出席して、14回目となる「平成23年度茨城大学工学部技術部研修会」を開催し、教職員40名の出席者があった。

開会式で、神永文人副学長（学術）、友田陽工学部長及び武田誠総括技術長から、今後の大学運営に対する技術部への大きな期待が述べられ、震災後の復旧・復興における技術部の活躍に対して謝辞があった。

特別講演では、工学部都市システム工学科 横木裕宗教授より「茨城大学東日本大震災調査団に参加して」と題した講演、理学部 田内広教授より「放射線による遺伝子損傷とその修復機構」と題しての講演があり、東日本大震災での関係のある興味深い講演があった。講演後の質疑応答では、教職員から多くの質問が出され解りやすい説明を頂いた。

技術発表では、工学部、農学部、IT基盤センター、機器分析センターの各技術職員が、日ごろ茨城大学をバックアップしている支援業務について6件の技術発表及び1件の海外研修発表があった。

さらに、特別企画発表として「日立キャンパスにおける技術部の支援業務」と題し、東日本大震災からの復旧・復興で、3.11以降寸断されたライフラインの回復に技術職員が関わった支援業務の発表があった。講演後の質疑応答では、他大学及び本学の教職員から活発な質疑があり、今後の支援業務にとっても参考となった。

その後、懇親会が行われ、他大学技術職員から研修会に対する感想があり、他大学の状況などの情報交換が行われ、有意義な「技術部研修会」となった。



研修会風景



懇親会風景